

郷土の歴史を学び、文化遺産を未来に引継ぐ、

小野口の名称は、浜名地区の旧村名で、明治41年に小松村、内野村、平口村が合併の際、それぞれの名前から一文字ずつ取って命名されました。

令和7年より本会の会長が交代いたしました

新会長就任ごあいさつ

足立一仁

「小野口の会」第3代会長を仰せつかりました浜松市浜名区出身の足立一仁です。当地、小野口（小松、内野、平口）は、天竜川西岸、天竜川河岸段丘及び三方原台地に位置します。暴れ天竜が上流から土砂を運んできたおかげで豊穡肥沃な土地になりました。そのため数多くの人々が住み着き、東西の交流も盛んになり先人が残した遺跡、遺構等の文化遺産が身近に見られます。歴史好きには大変恵まれた地域でもあります。「小野口の会」は2018年12月に発足して以来、早6年余が経過しました。今後も会員一丸となって地域の文化遺産を皆様方に紹介、維持していきたいと思っております。



前会長退任ごあいさつ

平野宣男

「小野口の会」の代表を退くにあたり、一言御礼申し上げます。
当会は設立者であり、初代会長であった故山内中氏の謂わば教え子により活動をしているものであります。小野口という極く狭い地域のことではありますが、人々の生活があり歴史がありました。その歴史を末永く伝え知って戴く爲、これからも活動을 続けて参ります。今後とも宜敷く「小野口の会」をご支援くださるよう、お願い申し上げます。

浜名小学校3年生へ「地域の昔ばなし」の授業をしました！

1月27日（金）に浜名小学校にて3年生の児童全員を対象に、学区の小松、平口を中心に浜名地区（旧小野口村）の成り立ちや文化遺産のはなしをさせて戴きました。クイズや紙芝居、昔の学校の様子を写した動画や質問タイムを含めて約1時間、皆さん熱心に聞いてくれました。質問タイムでは沢山の質問が出て驚きました。また、後日には参加児童全員からの感想文を戴きました。



足立伊助翁
頌德碑
(不動寺)

小野口人物伝

また、織物・染色関係にも多大な功績を残し遠江織物同業組合の組合長も務めた。人格高潔にして広い心の持ち主で地域の発展、社会教育の推進などにも貢献した。

昭和二十八年（一九五三）没す。

行年九十二歳であつた。

平口不動寺山内に残る頌徳碑は、小野口村長竹内市太郎氏を始めとした地域の人々六十余人の賛同により建立されたものである。

足立伊助翁

に徳生寺に開設された木船小学校平口分校に入学した。

明治十三年（一八八〇）に十八歳で家督を継いで以降、平貴村の収入役、村会議員、浜名郡会議員、学務委員などを歴任した。

実業面では平口の（株）日乃出座や小野口信用組合などの企画・設立に関与し、役員や社長を歴任した。



八九るに口二（文
七年°生村）一久幕
六（明ま新に八二末
）一治れ田平六年の

《お勧めウォーキングコース（平口地区山林～姥ヶ谷の文化財を歩く）》

会報第1号から続けて来ましたこのシリーズも、これで浜名地区（旧小野口村）を一巡しました。
（次号からは、また違った形で地域の文化遺産を紹介して行きたいと思います。）



ゆいしょうざんみょうれんじ

①唯唱山妙蓮寺 (平口本村山林)



小野口では唯一の日蓮宗の寺院
本山は身延山久遠寺
橋羽の妙恩寺の末寺
本尊は釈迦牟尼仏
創立は元禄元年(1688)
妙恩寺十六世義光院日空上人が開基した。山林の草分け奥野治郎左衛門の寄進で本堂などを建立したと伝えられているが、延享三年(1746)に火災で類焼した。現在の堂宇は内野の庄屋の建物を移築したものと言われている。本堂の左側に一段高く七面大菩薩と鬼子母神、日空上人が祀られている。注) 右下の※印は、前地点からの徒歩での大凡の分数を表す。

※0分

どうひょう ばとうかんのん

②道標と馬頭観音 (妙蓮寺横)



道標は高さ56cm、巾21cm、奥行13.5cmで明治十五年四月 濱松紺屋町内藤弥吉 笠井村山下伊太郎とある。表面に「右 半僧坊 左 濱

栄」と記されているが、現在右側は直ぐ藪の中へ入ってしまい進むことができない。

馬頭観音は以前は離れた場所へ移されていたが、良くないことが続いたので元の場所に戻したとのこと。

※2分

あきばさんじょうやとう

③秋葉山常夜燈 (妙蓮寺入口)



昭和5年(1930)4月建立
幟立ては昭和46年(1971)1月建立
高さ 基礎80cm、基壇40cm、燈籠135cm
昭和初期に、この地区(山林)で4、5軒の火災が発生した為に常夜灯を建立したと伝わる。

※3分

はんそうぼうりていせき

④半僧坊里程石 (支援センターわかぎ南)



道路からは一段高い屋敷内に建っており、半分以上は埋められているが折れてしまっているかもしれない。現状は、高さ37cm、巾19cm、奥行16cm

正面に四里十、右面に長上郡笠井、左面に明治十とだけ読める。以前は、妙蓮寺からつながる半僧坊道がこの辺りを斜めに横切っていたらしい。現在地へは工事に伴い移転された。

※15分

あきばみちどうひょう

⑤秋葉道道標 (ホトニクス南)



宝暦年代の建立で、恐らく浜松で一番古い道標だと思われる。以前は脇道に沿って建てられていたが、現在はホトニクスの南側の太陽光パネル敷地の入口に移設されている。「右 かさいみち 左 あきはみち」とある。正面には石仏(道祖神?)が彫られている。施主名は読み取れない。

※15分

はんそうぼうりていひょう

⑥半僧坊里程標 (ホトニクス西)



高さ198cm、巾31cm、奥行24cmで「明治十七年六月建立」と長上郡笠井の世話人5名の名前が記されている。「左 半僧坊道 是より四里」とあり、右は都田、大平道となっている。

※5分

やまのかみ

⑦山の神 (姥ヶ谷東公園の東)



姥ヶ谷には神社がなかった為、昭和13年(1938)に大山祇神を祭神とする「山の神」神社を創建し、出征兵士の武運長久を祈った。その後は部落の鎮守として住民全体の信仰の中心となっている。現在の社は昭和52年(1977)の築造。坂道の途中の石段を登ったところが境内で、県有林の払い下げをを受けて神社とした。

※20分

たていし

⑧立石 (山の神の境内)



明治九年(1876)、都田地区から出火した山火事が三方原の一部を焼いて東に燃え広がり、姥ヶ谷地区を焼き尽くした。姥ヶ谷の地は、当時皇室の御料林であったので、国の手でこの焼跡を元の山林に回復する為各種の木を植えたり、種を蒔いたりした、その事実を後世に残す為に、この碑が建てられた。一種の記念碑であるが、土地では立石と呼んでいる。

※0分

惡人地蔵

江戸時代の終わり頃、金指に内山某という悪人がいました。この悪人は大変な悪人で、泥棒や火付け強盗ばかりでなく、何人もの人を殺すなど悪行を重ねていました。

しかし終いには、とうとう捕まつて御奉行様から死刑が言い渡されました。そして明日は処刑されるという前夜、夢枕に観音様が立ち、この悪人が犯した罪の重さを懇々と諭しました。これにはさすがの悪人も、己の罪の深さを思い知らされ、いよいよ死刑というとき役人に「俺は、今まで散々悪事を働いてきた。せめて死んでからは人のために尽くしたいので俺を地藏として祀ってくれ。そしたら茶碗一杯の水を手向けてくれれば、どんな病も治して見せる」と言つて頼みました。

その役人は、この悪人が改心したことを認めて、地藏像を彫り「悪人地藏」として祀つてやりました。